



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.39

平成31年1月17日

文責：校長 伊藤孝行

インフルエンザ大流行の兆しが！

先週から市内の私立高校の入学試験が始まり、週末は大学入試センター試験が行われます。例年この時期はインフルエンザの流行と重なり、受験生がいらっしゃるご家庭ではご心配なことと思います。

16日現在、開成小でインフルエンザに感染し、出席停止となっている子どもは1名ですが、近隣の小中学校ではインフルエンザが流行し、郡山一中学区内にある小学校からは、学級閉鎖の報告がなされています。

昨年も書かせていただきましたが、感染症の予防は「団体戦」で頑張りましょう。

家族全員が気持ちを揃え、家庭に感染症を寄せ付けないように対策を講じてください。

【家族で取り組むインフルエンザ予防】

- ① 家族全員が予防接種を受ける。
予防接種を受けても、インフルエンザに感染しない保障はありませんが、症状は軽く済みます。また、家族全員に免疫があれば、その集団は感染しにくくなります。
- ② 睡眠の質をよくする
質の良い睡眠が免疫力を高めるので、睡眠時間の量と質を確保しましょう。
- ③ 人混みに出かける際の注意
マスク、帰宅後のうがい、手洗い、消毒を徹底し、家庭内にウィルスを持ち込まないように注意しましょう。

家庭に受験を控えたお子さんがいると、心配でしょうが、家族全員で予防に向け力を結集し応援してください。

受験生の皆さん、ここまで来たら試験の結果を左右するのは健康管理です。ベストな状態で受験されることを祈っています。

寒さに負けず、子どもたちは元気です！

今年の冬は雪が少ないため、この時期でも校庭をフルに使うことができます。

業間の時間や昼休みになると、子どもたち

は元気に校庭に飛び出し、縄跳び、鬼ごっこ、ドッジボールと思い思いに体を動かし楽しんでます。「まさに子供は風の子です。」



5年生が頑張ってきました。

3学期に入り、5年生がしっかりとしてきました。高学年としての自覚が育つとともに、来年は最高学年になるという自負も芽生えてきたように感じます。

特に、清掃を頑張る姿をよく目にするようになりました。その中でも、子どもたちの成長を強く感じるの、先生の目が届かない場所でも頑張れる子どもが増えているということです。自分で考えしっかりと行動できるというのは、とても頼もしいことです。

1月17日は阪神淡路大震災の日です。

平成7年1月17日午前5時46分に発生した阪神淡路大震災は、神戸市を中心に6400人を超える死者や住宅の倒壊、火災など大きな被害を出しました。

その後の東日本大震災を経験して、実際に自分が当事者にならないと、被害の大きさや深刻さを実感できないということを知りました。しかし、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺もあるように、人間はいつのまにか災害や危険に鈍感になってしまいます。

非常持ち出し袋、非常用の水や食料はどうなっていますか？点検や補充が必要ではないでしょうか。阪神淡路大震災の日、振り返ってみるのも良いと思います。